

## 全国の妊婦における抗H T L V - I 抗体保有状況

速水 正憲(東大医科学研究所)

1987年から1983年にかけて集められた本邦10地域における17-42才(平均26.9才)の妊婦の抗H T L V - I 抗体保有状況を蛍光抗体法により調査した。その結果、1125の血清のうち26血清(2.3%)が陽性であった。いずれの地域も陽性例が検出されたが、地域によってその陽性率には差があり、同じ流行地であっても八重山4.7%、名護・古座6.7%、高知4.0%であったが、宮古0.9%、長崎1.1%であった。また非流行地においては知多0.9%、茅ヶ崎1.0%、東京1.6%、盛岡0.9%であったが、札幌では2.5%であった。また年齢別にみると、10代では3.3%(1/30)、20代では1.2%(10/808)、30代では4.8%(14/294)、40代では12.5%(1/8)であった。陽性者の抗体価は流行地のものの方が非流行地のものよりは高かった。

このように全国各地の妊婦の陽性率は、今まで報告されてきたその地域の陽性率を大旨、反映していた。流行地である宮古、長崎で低率であったことは、おそらく検索例の年齢が比較的低い為と考えられる。北海道では一般に0.9%の報告があるが、札幌の2.5%陽性率の理由については不明である。また非流行地よりも流行地の妊婦の抗体価が高い理由についての不明である。

List of Pregnant Donors

Place	Prefecture	Numbers of sera examined	Range of age	Mean of age	Date of collection
Yaeyama*	Okinawa	127	17-40	26.0	1978
Miyako*	Okinawa	112	18-42	26.7	1978
Nago&Koza*	Okinawa	104	20-42	27.8	1978
Nagasaki*	Nagasaki	89	20-36	26.9	1982-83
Kohchi*	Kohchi	101	18-39	26.2	1979-80
Chita**	Aichi	120	17-40	24.8	1980
Chigasaki**	Kanagawa	100	22-37	28.3	1978-79
Tokyo**	Tokyo	127	18-36	28.6	1982-83
Morioka**	Iwate	115	20-39	26.8	1979
Sapporo**	Hokkaido	120	17-42	28.9	1981
Total		1125	17-42	26.9	1978-83

\* Places in ATL endemic areas

\*\* Places in ATL non-endemic areas

Prevalence of Anti-ATLV Antibody  
in Pregnant Women

Place	Positive ratio	Titers and ages of sero-positives
Yaeyama*	6/127 (4.7%)	640(36), 160(36,32,31,28) 40(28)
Miyako*	1/112 (0.9%)	40(19)
Nago&Koza*	7/104 (6.7%)	2560(42,31,30), 640(27) 160(31,31), 10(27)
Nagasaki*	1/89 (1.1%)	160(35)
Kohchi*	4/101 (4.0%)	640(31,22,22), 160(32)
Chita**	1/120 (0.8%)	160(19)
Chigasaki**	1/100 (1.0%)	160(31)
Tokyo**	2/125 (1.6%)	80(33,29)
Morioka**	1/115 (0.9%)	160(32)
Sapporo**	3/120 (2.5%)	160(28,25), 10(28)

\* Places in ATL endemic areas

\*\* Places in ATL non-endemic areas